

指針第1号様式

地 球 温 暖 化 対 策 計 画 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	株式会社セントラルパーク
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市中区錦3丁目15番地13号先
工場等の名称	セントラルパーク地下街
工場等の所在地	名古屋市中区錦3丁目15番13号先
業 種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	地下街店舗の賃貸及び駐車場経営
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公 表 期 間	令和4年4月11日 ～ 令和7年3月31日		
公 表 方 法	○	掲 示 閲 覧	（場 所） 株式会社セントラルパーク 事務所内
		ホ ー ム ペ ー ジ	(HPアドレス)
		冊 子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	株式会社セントラルパーク 施設管理部 (TEL)052-961-6116		

指針第 1 号様式

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は事業活動のあらゆる分野を通じて、地球温暖化防止対策を実施し、地球環境保全に貢献します。

1. 継続的な環境改善

P D C A サイクルに基づく環境施策の継続的な改善をはかります。

2. 省資源・省エネルギー活動の推進

工場等で使用する電気・燃料等のエネルギー使用量を令和 6 年度までに令和 3 年度比 0. 5 % 削減を目指します。

3. 廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進

の発生を抑制します。ゴミの分別化をはかり、リサイクル処理を推進します。

4. 従業員・出店者への環境教育

従業員及び出店者に対して環境教育をすすめます。

3. 廃
棄物
4. 従業
員及

(2) 地球温暖化対策の推進体制

施設管理部長

↓

各担当部長

↓

社 員

↓

従業員

指針第 1 号様式

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3, 190	t-CO ₂
① (温を二室除 酸効く 化果 炭ガス 素換排 算出量)	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	3, 190	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（１）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 6 年度 目標削減率	
温 室 効 果 ガ ス 総 排 出 量	3, 190	t-CO ₂	3, 158	t-CO ₂	1. 0	%

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 6 年度 目標削減率	
原 単 位 あ た り の 排 出 量	61. 37	kg- CO ₂ / m ²	60. 76	kg- CO ₂ / m ²	1. 0	%

（２）目標設定の考え方

すでに多くの設備更新・設置を実施し、エネルギー使用量を大幅に削減した為、これ以上の削減を出来る施策は少ないが、照明のLED化等の省エネ化を推進し、目標削減へと取り組む。
--

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

指針第 1 号様式

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

[illegible]

指針第 1 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組